

7. 取扱い及び保管上の注意	<p>取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> 水分、湿気、強酸化剤、火源との接触厳禁。 直射日光を避ける。 このフィルムは重量物であるので、運搬時に腰を痛めたり、落下によるケガをするおそれがあるので荷扱いに気をつける。 <p>保管</p> <ul style="list-style-type: none"> 常温屋内保管、湿気、水漏れ、直射日光は厳禁。 ダンボール箱に入れて保管する。 保管はパレット等の平面な場所に縦積みして、荷崩れ防止対策を施す。 フィルムロールの歪みや荷崩れのおそれがあるので横積みや立てかけの保管は避ける。 ラッピング時フィルムが切れる恐れがあるので、フィルム両端に傷をつけない。 長期保管により、荷崩れ、或いはフィルムの過剰粘着によりフィルムの剥離不良を起こす場合があるので過大な積み重ねや長期の保管は避ける。 (原則として6ヶ月以内に使用して下さい)
8. 暴露防止措置及び保護措置	<p>管理濃度 : 厚生労働省告示第73号に記載無し。</p> <p>許容濃度 : 日本産業衛生会記載無し。</p> <p>ACGIH勧告値 : 記載無し。</p> <p>その他 : 必要に応じ適宜、安全靴、安全防具（ヘルメット）滑り止め付き手袋、安全眼鏡等の防護具を装着する。</p>
9. 物理的及び化学的性質	<p>外 観 : 透明フィルム</p> <p>比 重 : 0.880~0.970</p> <p>融 点 : 110~130℃</p> <p>融解性 : 水に不溶</p>
10. 安定性及び反応性	<p>引火点 : 350℃付近。</p> <p>発火性 : 自然発火性、水との反応性はない。</p> <p>可燃性 : あり（消防法指定可燃物）。火炎、スパーク、火花等の接触により発火する。</p> <p>自己反応性 : 無し。</p> <p>安定性 : 常温で安定な物質。350℃以上で熱分解を起こし、CO、CO₂、炭化水素及びその酸化物を発生する。</p> <p>反応性 : 水と反応性は無し。</p>
11. 有害性情報	<p>皮膚腐食性、刺激性、感作性、 : 特に知見無し(特別問題ないと考えて変異原生、生殖毒性、催奇形成 いる)。</p> <p>急性毒性、慢性毒性、癌原性 : なし(文献による)。</p>
12. 環境影響情報	<p>分解性、蓄積性、魚毒性 : 特に知見無し(特別問題ないと考えている)。</p>
13. 廃棄上の注意	<p>「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に従って焼却又は埋め立てを行う。地方自治体の規制がある場合は、それに従うこと。</p>
14. 輸送上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 製品、梱包装に損傷を与えぬように乱暴な取り扱い、水濡れを避ける。 一般的な可燃物の取り扱い上の注意事項に留意して行う。
15. 適用法令	<p>保管 : 消防法(3000Kg以上は指定可燃物)</p> <p>廃棄 : 廃棄物の処理及び清掃に関する法律</p>
16. その他の情報	<p>本データシートは、当社の持つ知見を元に充分注意を払って作成しておりますが、この記載内容は通常の使用状態におけるものであり、特殊な条件下での安全性・引用文献の内容・全ての生体影響の網羅を保証するものではありません。使用におかれましては、適用法令に従うと共に、この製品安全シートを参考に、自社の使用に即した取扱い上の注意を検討確立し、安全に使用して戴きたくお願い致します。</p>